

なんてん

2011.5

第 50 号

発行元：社会福祉法人 県央福祉会 横浜市中山みどり園

226-0011 横浜市緑区中山町 395-2

Tel 045-931-8611 Fax 045-931-8626

発行責任者 鈴木 紀雄

よろしくお願ひします！



平成 23 年度がスタートしました！

今年度もよろしくお願ひ致します！！



新メンバー紹介

4月より、活動室1と3にあたらしく利用者さんが3名加わりました！
通所し始めて約1ヶ月が経ちました。作業や散歩などの活動に参加したり、職員や他の利用者さんとの関係を築いたり…さまざまな思いがあった1ヶ月だったのではないのでしょうか。少しでも早くみどり園での生活に慣れ、みなさんと一緒に楽しく過ごせたらと思います。あらためて、これからもよろしく
お願いします！



また、同時に4月より新しい職員も入りました！今回は、常勤で入った5名の方に一言いただきました。次号でもまた紹介する予定です。乞うご期待！（佐々木優生）

今年度4月より横浜市中山みどり園に配属になりました木田陽子（きだようこ）です。この春より県央福祉会に新規採用となりました。社会人1年目です。

大学では社会福祉を学びました。また、サークル活動や実習において障がい者の方と接する機会がありました。

分からないことばかりでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、1日1日少しでも職員として成長できるよう努力していきます。利用者の皆さん、ご家族の皆様と良い関係を築いていきたいと思っています。

よろしくお願い申し上げます。

（木田 陽子）

今年度より横浜市中山みどり園に配属になりました野中隆宏（のなかたかひろ）です。

大学・大学院では「農」と「食」について主に学んできました。今まで経験してきたことを少しでも社会に還元しながら、社会人として、県央福祉会の一職員として頑張りたいと思っています。まだまだわからないことも多く、未熟ではありますが、利用者さんやご家族の方に信頼される支援員を目指して成長していきたいと思っています。

よろしくお願い致します。

（野中 隆宏）

今年度より新しく横浜市中山みどり園に支援員として配属になりました、河原征洋（かわはらゆきひろ）です。好きなことは音楽鑑賞、パソコン、車や電車で外出することです。グループホームで2年ほど非常勤職員として、障がい者の方々と関わっていました。グループホームでの経験を生かしつつ、新たな気持ちで中山みどり園の利用者の方々と共に楽しい時間を過ごしていきたいと考えております。まだ未熟ではありますが、利用者の方々から様々なことを学び、ラポール（信頼関係）を築いて、成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。（河原 征洋）

相模原にある「ふるーる」から異動して参りました、山木明江(やまきあきえ)と申します。主に利用者の方とダイソーの製品作成や売店での販売活動支援をさせて頂いておりました。

中山みどり園にお世話になってまもなく一ヶ月になりますが、新しい体験が多く、日々勉強させて頂いております。色々ご迷惑をおかけする事があるかと思いますがよろしくお願い致します。

(山木 明江)

今年度4月より横浜市中山みどり園に配属されました金鑫(じんしん)と申します。

今まで主に児童を対象に芸術表現と造形を用いた療育に携わってきました。ふれあってきた子どもたちから本当に多く学んできましたが、特に命の多様なあり方とそれぞれのの中に秘めている可能性を信じる事がもっとも大切な教えであったように感じます。

これから、中山みどり園の皆さまから多く教われながら、私なりに皆さまの何らかの役に立てれば幸いに思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。

(金鑫)

ここでふれいく クイズ!

問題 I : 横浜市の「市の花」は以下のうちどれでしょう？

- ① チューリップ
- ② バラ
- ③ カーネーション

問題 II : この熟語の意味は何でしょう？

- ① 薫風
- ② 小満





5月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6	7 開所日	8 
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18 	19	20 健康診断	21 開所日	22
23	24	25	26 園内宿泊	27 →→→	28 	29
30 	31					

~~~~~クイズの正解~~~~~

問題1：慣用句の読み・意味

答え：②

横浜市の花「バラ」は、花と緑あふれる横浜を創造するシンボルとして、平成元年9月23日市民により定められました。

西洋バラの多くは開港間もない横浜から日本へ上陸したといわれ、その後1世紀以上にわたって市民に親しまれています。

問題2：熟語の意味

- ① 初夏、草木の緑を通して吹いてくる快い風のこと。夏の季語。
- ② 万物が一応満足できる大きさに成長して、天地に満ちはじめる頃。春分や夏至と言った季節を表す名称の一つで、現在では5月21日頃のこと。

編集後記

前担当に代わり記事を担当することになりました、佐々木優生です。早いことに、みどり園に勤めて5回目の春を迎えることとなりました。今年は桜の開花が近年の中では遅かったようで、みなさんと散歩をしながら、「桜がまだ咲かないなあ」と思うことが何度かありました。1年の中でも桜の咲く季節が一番好きなので待ち遠しかったですが、あっという間にその時は過ぎてしまいました。

その季節がくると感じることや思い出す出来事など、みなさんもあるのではないのでしょうか。新年度がスタートしましたが、今年もみなさんと共に『四季』を感じていきたいと思います。今年度も宜しくお願い致します。(佐々木優生)

